



がつ  
ぎょうじよてい  
**1月の行事予定**



あさひぶんかかい  
**朝日文化会館**  
かい  
か  
ん

会館 はより  
だい ごうれいわねん がつごう  
**第514号令和8年1月号**



し  
【お知らせ】

○ ふれあい喫茶 (今月は 15日 木曜日) **予約締め切りは1月13日まで。**

○ 各種相談日 1月 9 日 (金) 10時~

人権相談、生活相談、困っていること、何でも話に来てください。

○ 周辺地域巡回事業 1月 5 日 (月) 15:30~

○ 朝日文化会館人権フェア

【講演】1月30日(金) 19:00~朝日文化会館2階大ホールで開催

講師:歴史民俗研究者 五藤 孝人さん 演題「知ることから始めよう」

【作品展示】1月31日(土)~2月1日(日) 9:30~15:00 2階大ホール

【はんぶんこにしてみよう】子どもから大人まで楽しく人権を学べる体験型イベント

1月31日(土)~2月1日(日) 9:30~15:00 朝日文化会館内

あさひぶんかかい  
朝日文化会館連絡先  
住所:四国中央市三島朝日3丁目5番30号  
TEL: 0896-28-6070  
FAX: 0896-28-6104

うま (午) くいくことが、  
みな 皆さんにたくさん 訪れる。

そんな素敵なお年になりますように。



おすすめ



随時開催  
・希望者

# 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。幸せを願い新春をお迎えのことと存じます。日頃より朝日文化会館の活動に際しましてご支援ご協力をいただき有難うございます。私たちは差別や偏見がなく、人と人とのつながり合い、誰もが幸せになることをめざしています。

朝日文化会館で毎月実施しているふれあい喫茶(モーニング)には、約40名の参加があり、交流の場所として、ここで会えるのを楽しみに来て下さっています。館のいろいろな取組を通して人と人のつながりが深まっていければと思います。先日、人権について研修をする中で、人の生き様に学ぶことがありました。第2次世界大戦中のユダヤ人迫害にまつわる実話に基づいた映画「シンドラーのリスト」では、射殺やガス室送りの地獄の光景を目撃したシンドラーが、人間性に目覚めています。彼はあまりの残虐さに憤り、ユダヤ人を助けようと生産性を口実に自分の工場にユダヤ人を雇い入れ、ガス室に送られるのを防ぐため千百人の名簿を作りました。私財を投げ打ってユダヤ人を助けたのです。終戦後、命を救われたユダヤ人は、戦犯となったシンドラーに自分たちの金歯を外して指輪を作り、工場での出来事を綴った日記と全員の署名を添えてシンドラーに手渡し、「捕らえられたらこれを見せなさい。」と告げます。シンドラーは工場の門を立ち去ろうとする時「どうして、もっと多くの人を助けられなかったのか」と嘆きました。しかし見送りのユダヤ人たちが贈った指輪には、「一人を救う者は世界を救う」という文字が刻印されていました。

"Whoever saves one life, saves the world entire."



日本のシンドラーと呼ばれる人がいます。氣骨の外交官、杉原千畝です。第2次世界大戦中、リトアニア共和国の領事館にユダヤ人が日本を経由して米国に逃げようとビザを求めて殺到しました。ビザ発行の許可は下りていませんでしたが、領事代理の杉原は万年筆が折れ、手が動かなくなるまで徹夜でビザを発給し続け、6千人のユダヤ人の命を救いました。杉原は「処罰を受けても自分の一存で人間としての信念を貫こう。」と決断したのでした。シンドラー、杉原は信念をもって自分にできることを行い、多くの命を救うことにつながったのです。

命とはかけがえのない宝物  
全部輝けみんな平等



昨年11月に三島南中学校の人権集会「今つなげよう思い」～同和問題の解決をめざして～を参観しました。差別について自分事として考えていなかった主人公が、家族や学級で話し合う中で、自分はどうなのか、自分にできることはと考え、行動へとつなげています。同校では3年生全員が人権劇に関わり、劇や役割を通して考えを深めています。3年生の感想を紹介します。

「人権劇の取組を通して、やっぱり差別は他人事だと思わず、自分にも関係することだと理解することが大切だと思いました。差別は誰かが無くしてくれる。自分が取組まなくてもいいなんて思わず、自分が無くすという気持ちが持てた。これまで学んできたことをこうやって色々な人に伝えられてよかったです。」

み 見ようとして見、聴こうとして聴くことで自分事としての考えが深まるように思います。差別をしない生き方、命を大切にする生き方につながっていってほしいです。

会館職員一同、今後も会館の活動を見直しながら、信頼関係を築き、人と人つながりがついていくよう、努めてまいりたいと思います。

ほんねん よろ ねが もう あ  
本年も宜しくお願ひ申し上げます。

あさひぶんかかいん かんちょう しらた としこ  
朝日文化会館 館長 白田 敏子